

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・返礼ギフトシーズンの書き入れ時となるタイミングで、まん延防止等重点措置が解除になったことで客足が戻り、物産催事の集客もあり、好調だった前年同月も売上でも上回り、回復の兆しがある。
	◎	コンビニ（副店長）	来客数の動き	・前月20日の県内のまん延防止等重点措置の解除、今月21日での全国的なまん延防止等重点措置の解除に伴い来客数が回復している。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの12月の販売室数が前年比35%減少とマイナスであったのに対して、3月の販売室数は前年比34%増加とプラスに転じている。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・全国的にまん延防止等重点措置が解除され、観光客等が増えている。
	○	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除以降、新規感染者数が下げ止まり、客の来店頻度がやや上向いている。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除となり、以前と比較し、観光客は戻ってきているが、今度はいろいろな値上げの関係で今後の不安から、余り金を使わないようにしている印象がある。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	来客数の動き	・観光客が少しずつ戻ってきている。ただ平日はまだまだ少ないので、完全に楽観的にはなれない状況である。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が解除になってから徐々に観光客が増え始めている。地元客は新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりしているので、まだ、積極的に外食には出てこない。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたこと、春休みに入ったことで、3か月前と比べて観光客、宿泊客が増えている。ただし、2019年と比べても4割程度なので、まだ実情としては厳しい状況にある。飲食に関しては、昼食等は増えているが、夜の宴会については、例年はある企業の歓送迎会が、今年はゼロ件である。
	○	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、少しずつ取扱量も増えてきている。新型コロナウイルス新規感染者数は依然として高いままなので、ストップが掛からないことを期待する。
	○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・月前半は客足が悪く来客数、販売量共に振るわなかったが後半は持ち直している。新型コロナウイルスの感染が落ち着いているのが要因とみられる。
	○	住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置も全国的に解除され、県内外からの物件の問合せが徐々に増えてきている。今後、人流が活発になれば成約件数の増加も期待できる。
	□	スーパー（販売企画）	来客数の動き	・客単価は少し良くなっているが、来客数が悪く売上は厳しい状況にある。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客の購買意欲はこれまでと変わらない。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・建築契約件数、金額共に減少傾向にある。客の相談件数も減っている。
▲	－	－	－	－
×	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・現在まん延中の新型コロナウイルスへの対応ができなければ、まだ来客数は減っているように見受けられる。早めに新型コロナウイルスに対応できる業なり何なりがないと、このままでは小企業は大変な危機にひんする。
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・売上に関しては観光客も戻りつつあり、前と比べると好調に推移している。ただし、燃料費の高騰や資材関連の値上げで原価高になり内容は厳しくなっている。
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前から進めていた大型契約の締結や、新規の申込みがある。
	○	輸送業（経営企画室）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着き、受注量も増加傾向にある。また、新規の案件も増えている。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・受注量、生産量共に大きな変化はなく、横ばいの状況が続いている。
▲	＊	＊	＊	＊

	×	会計事務所（所長）	それ以外	・海外での紛争による物流、エネルギー供給への不安から物価高騰が続くとみられる。
雇用 関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	人材派遣会社 （総務担当）	求人数の動き	・受注案件が増加している。
	○	求人情報誌製作 会社（営業）	求人数の動き	・3か月前と比較し求人数は10%弱増加している。直近3か月では、徐々にではあるが採用活動が活発化する傾向にある。年度末ということもあり、退職や有期契約終了時期などが要因として挙げられる。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ホテル、観光バス、飲食等の求人を久しぶりに出す事業所が多い。
	○	学校〔専門学校〕 （就職担当）	求人数の動き	・新年度を迎えるに当たり、IT系企業を中心に新卒向けの求人数が例年以上に届いている。
	□	*	*	*
	▲	—	—	—
	×	—	—	—